

どうしたらいいの？

# 「イヤイヤ」する子とのつきあい方

「イヤイヤ」したり、泣いたり、怒ったり…。

“成長の証”とわかっていても、目の前で「イヤイヤ」「グズグズ」する子につき合うのって大変。こたわるポイントもイヤイヤの仕方子どもによって様々。

「これも、あれも、あてはまる！」なんてことも、ありますよね。

わが子はどんなタイプ？



## 《なんでも「自分で!」》タイプ



着替え、食事、手伝いなど、まだ、ひとりでは上手くできないのに「自分で!」とやりたがる。途中で思うようにできなくて怒りだしたり、泣き出したり…

## 《何をやるのも「イヤ!」》タイプ



提案されたものはことごとく「イヤ」という…。

ある! ある!

## 《服、食事、物へのこだわりが強い》タイプ

イヤイヤさると  
フイ、イヤイヤしちゃう



## 《泣いたり、騒いだり》タイプ



思いが通らないと床や道に寝転んで大泣きしたり、どんな場所でも騒いだり…。

手足を激しく動かして大暴れ!



晴れていても長靴をはきたいお気に入りの服しか着ない、○○しか食べないなど、とことんこたわる。

毎日だと  
疲れる…



## 《じっとしてられない》タイプ



外出先で、好奇心のおもむくままに突進。どこに行っても目が離せない。食事中でもフラフラと歩き食べ…

困った「イヤイヤ」

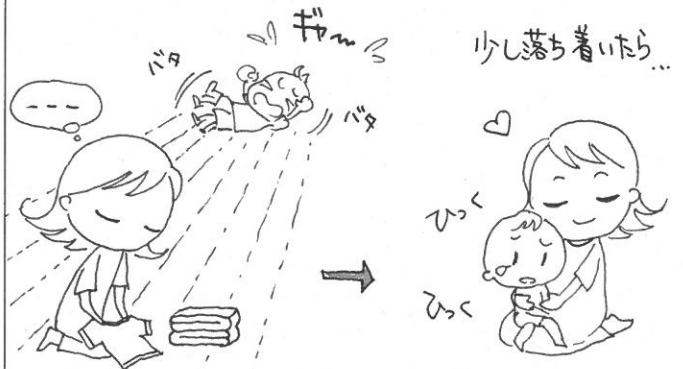
# こんな時どうしたらいいの？

## 「自分で！」と強く主張する時



子どもに合わせて目標を設定し「できた」という経験をたくさんさせてあげましょう。困っている時は「～だけお手伝いしようか？」と聞いたりさりげなく手伝ったりするとよいでしょう。

## 思い通りにならず、大泣きする時



カンシャクや大泣きを止めさせようとせず、しばらく見守り、落ち着くのを待ってみましょう。そのあと、子どもの気持ちを受け止めてあげるとよいでしょう。

危険な行為は、子どもがどんなにやりたがっても止めましょう！



道路への飛び出しや、人を傷つけるような言動は **ダメ!!**

子どもの反応をよく見ると、「こう言うとますます怒るんだ」「この方法がきくかも」と、その子の個性に応じた関わり方がわかってくるかも♡

## 何でも「イヤ！」と言う時



子どもの行動パターンを予め想定し、次にやることを予告しておきましょう。事前に声をかけておくと、子どもが“心の準備”をしやすいです。

## 「イヤイヤ」の理由がわからない時



本人もどうしてよいかわからず困っているのかもしれない。そばで見守りながら時間を置いたり、気分を変えたり、気持ちをそらしたりするとよいでしょう。

対応の困ることの多い「イヤイヤ」。もしかしたら、子どもも自分の気持ちをうまく言い表せないもどかしさに苦しんでいるのかもしれない。

「イヤイヤ」は、“親の子育てのせい”でも“わがまま”でもありません。「イヤイヤ」と闘わずに肩の力を抜くと、少し気持ちが楽になりますよ♡

